

練習は不可能を可能にする
あきらめたらおしまい

開倫ユネスコ協会
会長 林 明 夫

1. はじめに

皆様、おはようございます。

本日はようこそ栃木県・佐野市において下さいました。

心より歓迎いたします。

2. (1) 今回の第 12 回 KAIRIN 杯ドッジボール大会は、3 月 11 日に発生した東日本大震災と引き続いて発生した津波、原子力発電所の事故で被災された方々をお見舞いし、一日も早い復興を祈り念じるという意味で、東日本大震災復興祈念大会とさせていただきます。本大会に参加なさっておられる皆様におかれましては、どうか本大会の趣旨を御理解頂きたくお願い申し上げます。

(2) 大災害が発生したときに一番大切なのは、遠く離れたところにいらっしゃる被害にあわれた方々、また、皆様の身近なところで避難生活を送っておられる方々に対する思いやりであります。自分で言われたり、されたりしていやなことは、決して言わない、しないことも大切な思いやりと考えます。

(3) 本大会で元気にプレイをすること、被災地の方々に励ましの言葉や無理のない範囲で義援金をお送りすることも、大切な思いやりであります。

(4) 本大会で皆様からお寄せ頂いた励ましの言葉や義援金は、日本ユネスコ協会連盟を通じて被災地の皆様にお届けし、その結果は、後日御報告させていただきます。御協力に感謝申し上げます。

3. (1) さて、かつて慶應義塾の塾長をお務めになった小泉信三先生は、スポーツをすることで得られるものが 3 つある、3 つの宝物があると我々に教えて下さいました。

その第一は、フェアプレイの精神。

その第二は、練習は不可能を可能にするということ。

その第三は、よき友。

であります。

(2) KAIRIN 杯ドッジボール大会に御参加の皆様も、ドッジボールを通じて、この「3 つの宝」を大切に頂きたく希望します。

4. おわりに

最後になりましたが、本大会をお支え頂いている御来賓の皆様、審判団の皆様、スタッフの皆様、保護者の皆様、応援にかけつけて頂いたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。